

議 会 広 報 特 別 委 員 会

日 時	令和 8年 6月11日（木） 開会中	10時08分 開会 10時48分 閉会
場 所	相良庁舎 4階 第3会議室	
出席議員	（委員長） 9番 絹村智昭 （副委員長） 8番 石山和生	
	7番 鈴木長馬	6番 菅沼保弘
	2番 篠崎朗子	1番 中山尚大
欠席議員		
法第105条出席		
事務局	書記 増田 奈菜子 書記 中田 綾	
説明員		

署名 _____ 議会広報特別委員長

開会の宣告

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

皆さんそろいましたので、ちょっと早いんですけど、始めさせていただきます。

2 事件 （1） 牧之原市議会だより「かけはし」第83号について

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

それでは早速事件のほうに入っていきます。今回、6月定例会が始まったということで、牧之原市議会だより第83号について、編集スケジュールについて協議していきます。

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

それでは本日なんですけれども、議会だよりかけはし第83号について、編集スケジュール、そしてページ割の確認をお願いしたいと思います。

まず、編集スケジュールについてなんですが、添付の資料の資料1、編集スケジュールをご覧ください。

こちら小山紙店様とも協議した上で、それぞれのご都合、それからお盆休みが入りますので、そちらに間に合わせるようなスケジュールを組ませていただいております。

ちょっと、今すみません、こちらの編集ミスで、一番最後のページの校了日が隠れてしまっているのですが、校了日が8月3日となりますので、いつもより編集期限が短くなっております。特に海の日が入ることにより、7月の第4回目、第5回目の委員会からあまり時間がたたない、時間が短いという点がございしますが、そちらに注意して編集を行っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

皆様から見て、こちらのスケジュールで特に問題はないでしょうか。よろしいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○事務局書記（増田奈菜子君）

では続きまして、ページ割についてお話をさせていただければと思います。資料2のページ割をご覧ください。

こちらに掲載されております83号（6月）と書いてある部分が今回予定しているページ割になります。表紙写真は細江小学校様をお願いし、編集後記は年齢順で鈴木委員にお願いしたいと思っております。

上から順番に、定例会報告ですが、今回は総括質疑がなく、かつ通告質疑も1件であった関係で、6月定例会の報告と補正予算の連合審査会の質疑を合わせて見開き2ページ、かつ議案の一覧で1ページを予定しております。ただ、議案の一覧についても、今回議案の数が少ないので、かなりコンパクトに収まることが予想されておりますので、A4の約半分ほど特集ページか何かの記事を差し込める状態ではございます。もし空くようであれば、こちらはイラストと写真で埋めたいと思っております。

○（石山和生君）

今どこの話ですか。

○事務局書記（増田奈菜子君）

2、3、4 ページですね。

○（石山和生君）

2、3、4 ページが、2、3 ページで済むかもしれないという話ですか。

○事務局書記（増田奈菜子君）

その可能性はございます。こちらはその後出てくる討論の数であったりとか、また、補正予算連合審査会の質疑の数によっても変動していく部分ではございます。

5 ページから16ページまでが、今回一般質問をされる12人の方の記事を掲載させていただきます。

特集ページが17、18、19と20ページ目の約半分、A 4 半分ほどを予定しております。

この黄色い部分に書いてあるのが、今回特集記事に載せるべきだと事務局で判断して掲載させていただいたものになります。

これ以外に何かご意見がございましたら、追加させていただきますが、いかがでしょうか、何かご意見がある方はいらっしゃいますか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

アンケート結果をホームページに出しましたみたいなのは必要かなと思いますけど、多分一番裏面にどこかスペースを取ったりすればいいような気がする。一応共有です。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

確かに、アンケート結果は7月頃には載せられるという話をしておりましたので、アンケート結果についても含めたいと思います。その上で、どれを優先するかについてなんですが、視察報告、それから市民会議、議会報告会は、どれも報告すべき案件ではございます。かつ、議会報告会については、毎年、見開き1 ページ、なので2 ページ使うのが通例となっておりますので。アンケートの記事、結果が出ましたの記事を載せたいと考える場合、それを裏面でA 4 半ページ、議会報告会で2 ページとなると、残りの1 ページしか空かないので、そちらに議会運営委員会の視察と議会改革特別委員会の視察の内容を半分ずつ載せると、今度は総務の市民会議の内容が載らなくなってしまう。

○（石山和生君）

じゃあ、報告会をどうするかですか。見開きで1 枚載せるのか。

○事務局書記（増田奈菜子君）

それか、議会運営委員会の視察、ちょっと遠くなるんですが、9 月定例会号に載せるか。

○（石山和生君）

それか、1 ページに三つ載せるかですね。

議会報告会は見開きで、ほかは1 ページに三つ載せるくらいしかないですよ。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

その中で、文教の市民会議も入る可能性があるのですが、もしあれなら、それはまだ決まっていないので。なので、もし併せてというふうに、次回にと今ふと思ったんだけど、ペー

ジ的に。総務のほうには時間がちょっとたっちゃうんだけど。

○（石山和生君）

後ろにということか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

9月。

○（ 君）

総務建設委員会の、これが6月3日分じゃないですか、もう1個ある。細江の。その二つを一つにしたほうが分かりやすいかもしれないです。

○（石山和生君）

じゃあ、それは後ろ回しにするというのはありかもしれない。そうしたら、ぎりぎり見開き1と、報告会、視察・視察でどうにかいけそうですね。

○（菅沼保弘君）

文教も入るなら、・・・ですね。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

その辺一回。

○（石山和生君）

そうしましょうか。市民会議系は次号に回して、がつつり。

○（菅沼保弘君）

けど、次号って決算が入りますよね。

○事務局書記（増田奈菜子君）

決算連合審査会が入るのと。

○（石山和生君）

これ、みんなまた同じくらい一般質問した場合って、どうなるんですか。

○事務局書記（中田 綾君）

決算はいつも3ページ。予算で1ページ行っていないんですけど。

○（石山和生君）

プラス3ページ。

○事務局書記（中田 綾君）

そうですね。

○（石山和生君）

そもそも24ページいっちゃうということ。そんなに予算あるんでしたっけ。

○事務局書記（増田奈菜子君）

24ページ分つくること前提とした予算にしているので。

○（石山和生君）

そうなんですか。

○事務局書記（増田奈菜子君）

予算上は、余裕があるんですが。

○（石山和生君）

毎号24ページの予算ですか。

○事務局書記（増田奈菜子君）

のつもりで、一応取ってはいます。予算上は。ただ、契約上は20ページでつくってねという話をしているので、契約は変えなきゃいけないという形ですかね。

○（ 君）

そうすると、一般質問を1ページ・・・。

○（石山和生君）

あれは、リニューアルのときじゃないと厳しいと思います。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

そうそう、今の段階ではちょっと無理。

○（石山和生君）

だけど、予算があるんだったらどうにかなるので。一般質問が・・・ならいいですけど。じゃあ分かりました。さっきの方針で、ぎりぎりいい。

ほかに何か、逆にあれですよ。ほかに、本当は載せないといけないのに、抜けているものがないかだけは、ちょっと頭をめぐらせて。

研修会とかも特にないですよね、4月、5月、6月は。中電のあれはあったかもしれないけど。だけど、全員じゃないからな。

○事務局書記（増田奈菜子君）

7月9日、10日の議員研修会は・・・でいいですか。

○（石山和生君）

7月9日、10日の議員研修会とか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

今回なんですけれども、第4回目の編集のスケジュールが、ぎりぎり間に合うか、間に合わないかだと思っております。9日、10日に研修を行った後に、その資料を第4回目の委員会までに間に合わせたいんですよ。なので、2日くらいで記事をつくって、第4回目の委員会で全員で見て、になるので、だったら7月と、8月もあるんですよ、研修ってたしか。も合わせて議員研修という形で、9月に回したいような気もしています。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

それはそれで一旦いいと思います。

あれ、何か言おうとして忘れちゃった。今の今まで覚えていたのに。すみません、ちょっと忘れちゃいました。

○事務局書記（増田奈菜子君）

広報の視察とかですか。それも次回と考えていますが。

○（石山和生君）

次回、確実に24ページ行く気がします。一般質問次第ですけど。だって、今言ったのに加えて、予算決算3ページあるもんね。

○事務局書記（中田 綾君）

すみません、決算は2だったかもしれませんが。見開き1ですので、決算は。

○（石山和生君）

じゃあ、どうにかなるか。

思い出した。

そもそも前の研修のやつって、特集記事になりましたっけ。サウンズカードとかのやつ。

○事務局書記（増田奈菜子君）

なっていないですね。

○（石山和生君）

そうですね。そもそもなっていないか。だけど、しないという手も全然あるからな。

分かりました。多分記事のスペースがなかったんでしょう。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

石山委員のおっしゃっているのは、1月に行ったほうの研修になりますかね。このときは、台風15号のトピックスを大きく伝えるという話があったので、ページを大きく台風に割いていて、研修を行ったことは掲載しておりません。

○（石山和生君）

前回のときですね。

○事務局書記（増田奈菜子君）

そうです。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

もしかしたら佐藤さんのやつでやるんだったら、合わせて3個やっちゃってもいいような気がしますね。ということだけちょっと今共有して。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

今の話は、たしか7月、8月、9月に予定しているんですよね。なので、全部が終わった後に記事にするということでしょうか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

すみません、あまり深く考えないで大丈夫です。一旦やるときになったら話せば。最初から決めなくてもいいです。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

今の副委員長の話ですけど、自分も事務局が言われたように、要はまとめて、これやりましたという、そういう記事になるのかなというのを、ちょっと・・・で。

以上です。

○（石山和生君）

大丈夫かな。大丈夫そうですかね。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

確認を最後にさせていただきます。

それでは、現在の予定なんですが、議会報告会の記事が見開きで2ページ、議会改革特別委員会の視察、議会運営委員会の視察の記事が、A4を分けて半分ずつ。アンケートの記事でA4半分、これは20ページ目の裏面に載せるという構成でおりますが、よろしいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○事務局書記（増田奈菜子君）

承知しました。ありがとうございます。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

よろしくお願いします。

それでは、編集スケジュール、ページ割については以上とさせていただきます。

2 事件 （2） 牧之原市議会だより「かけはし」紙面のリニューアルについて

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

それでは、（2）牧之原市議会だより「かけはし」紙面のリニューアルについて、協議していきます。

アで、リニューアル案に基づいた記事（案）の確認をしていきます。

まず確認のほうをお願いします。資料3になるんですかね。

○事務局書記（増田奈菜子君）

そうですね、資料3になります。

○（石山和生君）

本物と見比べてですね。

ちょっとずれているのが気になるけど。すみません、パワポでつくと、文字が結構ずれるんですよ。

○（中山尚大君）

市民インタビューがもう少し、多分詰められますよね。ずれが多いので。

○（石山和生君）

1個目からやりますか。

これは僕がつくったんですけど、結構完成度どうですか。一番下。みんなのお金。これはほぼ完・・・ですよ。

○（中山尚大君）

これか。

○（石山和生君）

精度的には結構悪くないかなと思います。文字の位置も含めて。

○（中山尚大君）

色はあれですか、色はそのままですか。

○（石山和生君）

色はそのまま使っています。

○（中山尚大君）

こういう色なんですか。

○（石山和生君）

予算決算はピンクはないんですよね。予算決算のほうは緑。

○（中山尚大君）

そうか、号によって違う。

○（石山和生君）

号によってカラーが違うので。僕たちはどっちかというところ、緑に強いほうをするんですね。

困った点は、文字のバランスがどうしても難しいんですけど、おすすめは、文字は目視確認した上で余白を測れというところ、文字をマスクしろって言うんですよ。マスクと言って、テキストボックスがあるじゃないですか。テキストボックスの位置じゃなくて、文字の上から、例えばこの予算審議結果って見出しであると思うんですけど、これもバランス全然うまくいかなかったんですけど、そう指示したら、行きましたので、共有します。

文字を目視確認せよ。文字はマスク化した上で、上と下の余白のバランスを測って均一化させろというふうに指示したら、きれいにできました。

○（中山尚大君）

文字をマスク化ってどういう意味なんですか。

○（石山和生君）

マスク化というのが、例えばこの白い文字で、テキストボックスって普通あるじゃないですか。マスク化したら、本当にテキストボックスの中にあるのがここに小さくあったとしたら、本当はこれがてっぺんじゃないですか、文字の。けど、今、テキストボックスとかを混合しちゃっているの、本当の文字の上だけにするというのをマスク化というらしくて、マスク化させた上で、上と下とか左右のバランスを測って、それを一緒にしろみたいな指示の仕方をしたら行けましたので、それはぜひ使ってみてください。

そんなものかな。これはだけどA Iじゃないとできない。

この3人にしか、今通じていない。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

今から見ていただくのは、もちろんA Iのつくり方もお話ししていただいていたんですけど、全体を見て、このとおりでよいか、デザインが元のを踏襲してきちんとつくられているかを見ていただければよいので、ぜひ、つくった本人ではない鈴木委員にも菅沼委員にも絹村委員長にもご意見いただいて、このとおり進めてよいかどうか、これをベースにつくってもよいかどうかというのを見ていただきたいと思います。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

どうですか、菅沼委員、鈴木委員、一応全部見ましたか。そのときに、感想とか、こういう感じでというのは、何か。

○（菅沼保弘君）

いいと思います。ちょっと欲を言うと、歳入歳出の何年かの間の時系列を出せばなと思いました。というのは、歳出が増えているとか、歳入が減っているよというのが、そこで出てきてしまうものですから、ちょっと問題になるかなという。市民がそこら辺を心配しているという。

○（石山和生君）

時系列で。

○（菅沼保弘君）

時系列です。そうすると、市民に対して見やすくなるのかなと。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

そもそも前提を共有しておく、これ今、完全にコピー、一旦ちゃんと本当にパワポに起こせるのかというところだけに集中してやっているの、内容に関してはまた詰めるんですけど、今は多分デザイン的にパワポでもちゃんとできそうかということだけ。デザインは悪くないとおっしゃってくださったので。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

鈴木委員。

○（鈴木長馬君）

全体的に見て、よくできていると思うんですけど、文字の大きさがどのようになるかというのはちょっと心配なんですけど。ちょっとこれで見ると細か過ぎちゃっていると思うものですから。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

特にどの辺が小さいと感じますか。どのページが小さいと感じますか。

○（鈴木長馬君）

一番初めのページの、例えば左の下の方の民生費とか教育費とかありますよね。その辺の説明してある文章の文字が。

○事務局書記（増田奈菜子君）

小さい。

次のページは、いかがですか。

○（鈴木長馬君）

次のページもちよつとね。

○事務局書記（増田奈菜子君）

A4で出てくれば、もうちょっと大きくはなると思うんですが、今の感じだと小さいということですよ。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

文字の大きさ、取りあえず狛江はあれですごいグッドと言われているというわけですね。なので、まず、気持ち大きくしてもいいけど。なので、今度はまねじゃなくて、我々版にするときには、フォントの大きさというのはちょっと気にかけてやってみてもいいと思います。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

今度また皆さんで視察研修に行くかと思うんですけども、寄居町から基本情報をもらっておりまして、寄居町では12ポイントから10.5ポイントの間を基本としているそうなので、そちらを参考にしつつ、つくってもいいのかなと思います。

○（石山和生君）

それがどのぐらいのサイズ。結構小さいと思う。

○事務局書記（増田奈菜子君）

今の鈴木委員の意見を参考にしつつ、文字の大きさは後で視察後に決めるようにして、いければと思います。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

今度、自分なんですけど、自分もすごくある意味、全体的にすごくいいなというか、すごく見やすいなというのを感じたところです。今出た字の大きさとか、あと字体、字体もやわらかめな感じのものにしていけば、もっとその大きさと絡めて、牧之原市らしい、これは今後また視察しながら研究していけばなと思ったところです。すごい、つくっていただいた方たち、本当にありがとうございます。

副委員長。

○（石山和生君）

ちょっとまた一旦パワーポイント、今日の話ではパワーポイント化させて編集していくというのは、できそうだという結論でいいかなと思うので、あとはここからもうちょっと磨くのか、我々版に修正していくのかを、またこちらのグループで話させてもらって、また報告したいと思います。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

ほかに何かご意見等あるでしょうか。

篠崎委員。

○（篠崎朗子君）

まだ全部は触っていらっしゃらないとは思いますが、使い勝手というか、編集の仕方的に、もし触られていたページがあれば、感想というか、感覚的なものでいいので、教えていただければありがたいです。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

触ったのが、議案と結果のそれぞれの丸バツを入れるところ、ここが前は1個1個、実はセルがばらばらになっていたので、動いちゃったりとかして、きれいに整列ができなかったんですが、今回ののはまとまっていて一つの表になっていたんで、丸バツが入れやす

くて、ここは可能だなと思いました。あとは全体的に、まだ触れていない部分も多いんですが、隣の一般質問のページについても、若干のずれはあるんですが、この辺はどうしても出てくるそれぞれのパソコンのOSの違いだったりとか、入っているパワポの違いもあるので、こちらで修正できる範囲なのかなというのを感じています。

あとは、1個1個見ていくかなというところですよ。

私からは以上です。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

ありがとうございます。

中山委員。

○（中山尚大君）

確認の話ですけど、私も利府町議会の市民インタビューというページをつくらせていただいて、一応こんな感じでできてはいるんですけど、デザインとして、ここだけ狛江市さんと似ているので、なじんでいるかなぐらいの感じをちょっと皆さんと聞いておきたいなぐらいの感じなんですけど、私としては、ちょっと違う気もしないでもないかなと、つくって思っただけですけど、そんな感じです。皆さんの意見があれば、聞きたいぐらいです。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

すみません、ちょっと違うって、どう違うという。

○（中山尚大君）

何となく、デザインの方向性みたいなのが。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

デザインの方向性。

篠崎委員。

○（篠崎朗子君）

なじみ切ってはいないと思うので、フォントを合わせたりとか、ちょっと写真を斜めに見せたりとか、遊びの部分というのは多分加えれば、それなりにフォントと遊びで統一性ができるんじゃないかなとは思っています。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

デザインみたいところはさらにやっていかないといけないので、事務局の、増田さん、これって全部一応パワポで統合されているというイメージでやっていますか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

パワポで、それぞれの写真だったりがばらばらになっている状態なので、変えようと思えば文字の大きさ、フォントだったりとかを移動させることは可能かと思いますが、全部見られたわけではないので、利府町議会のページも変えられる部分等はあると思いますが、どこまでできるかは、すみません、今後やってみて確かめる形にはなります。ただ、デザインの、この前のページと合わせることは可能ではあるのかなと、今は思っています。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

1回出来上がったちゃえば、あとは我々風にするときに、デザインの方向性みたいなのをここでA Iに読ませて、それをちょっと使って編集をかけていくみたいな感じになると思います。なので、デザインはまたやりましょう。

あと、これのそれぞれのページの見本のPDFというのもつくれたりしますか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

それぞれ見本にしたい市町村のPDFその部分だけを取って、一つにまとめたものをつくるとのことですね。お時間をいただければ可能です。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

お二方は自分でまねした画像は残っている。それを共有したほうが早いかもしれない。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

それはあるんだと思います。画像だったり、何回か前の委員会でフォルダをつくって、その中に全部入れてあるところから皆さんピックアップしてくださったので、そこから切り取ればいいんですけど、幾つか前の号のものを切り取って、これも切り取って、の作業が少しお時間いただきたいので、次回の委員会までには完成させておこうと思います。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

細かい議論はやっぱりこれ終わってからでいい気がしてきたので、そっちでやります。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

自分もこれを見て、すごくいいなと思ったし、ただ、緑をちょっと強調、全体的に緑のカラーだよというところで、緑と緑が被さってはどうしても字がちょっと見づらいとか何とか、そういうところがあるので、あまりベースは緑だとしても、そういうところを変えていけば、見やすくなっていくかなと思いました。それは今後、検討していけばなと思います。

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

特に緑が重なって見づらいと思うところがあれば、参考に教えていただきたいんですが。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

例えば、このインタビュー。丸いベースのお子さんが乗っている、それでかぶっちゃっている、ちょっと見づらいかなという。ちょっとインパクト、ほかの文字に関しては、あれしたらあれかなとか。

要は、これは自分の感覚なんですけど、ピンクのこの手あるじゃないですか、ほかの手が。こういうのを見ると、新鮮に見えるというか、今まで牧之原市って緑のベースでやっていたので、こういうのがすごく新鮮に見えてしまうのかなというのもあるんですけどね。これは個人的な意見なので、あれなんですけど。別にほかってくれていいです。

そのほか、何かございますでしょうか。

篠崎委員。

○（篠崎朗子君）

視察研修はもう決定という感じですか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

視察研修ですが、28日の午後に寄居町議会。7月です。29日の午前中に島田市議会の予定であります。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

篠崎委員。

○（篠崎朗子君）

いろいろちょっと考えたんですけど、当日だけで行き帰りって大丈夫そう。

○（石山和生君）

寄居町に泊まるという選択肢があるのかどうか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

泊まることも可能ですが、島田市にわざわざ行くのに、寄居町に泊まってから行くとすると、島田市に結局行くのが午後になり、旅費もかかるという問題があるので、もしやるとすれば、島田市をもっとずらして別日に設定して、1日で行くことも可能かと思います。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

逆に、寄居町の場合って、何時くらいにやれそうだとかってあるんですけど。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

寄居町ですが、12時からお昼を食べて、1時半から3時半を予定しております。そこから帰宅して、それぞれ庁舎に着くのは8時頃になる予定です。

○（中山尚大君）

何時から。7時集合。

○（石山和生君）

8時くらいに帰ってくる。13時から。

朝は。

○事務局書記（増田奈菜子君）

朝が、すみません、今手元に資料がないのでうろ覚えのところもあるんですが、たしか7時。

○（中山尚大君）

移動はバスですね。

○事務局書記（増田奈菜子君）

移動は公共交通機関です。

○（中山尚大君）

分かりました。

○事務局書記（増田奈菜子君）

どうでしょうか。今のところ、宿泊は考えていないんですけれども、島田市にわざわざ行くのに、そもそも午後予定がある方がいらっしゃるというので、午前じゃないと行けないという話も聞いておまして。

○（中山尚大君）

逆に何で宿泊されたいのか。

○（篠崎朗子君）

これは個人的に、ちょっと体力的にどうかなというだけです。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

こちらで、28日、29日の予定を設定していたことと、寄居町のほかに東京近辺の市町村に泊まりがけで行くことを想定して、この二日間を予定していたので、今から少し変えて、1日空けて、別日で島田市議会のことを検討することも可能ではあるかと思うんですけど、どうでしょうか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

副委員長。

○（石山和生君）

宿泊しないんだったら、バスという手もあるんですか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

実は、バスはかえって交通費がかかることが予測されております。というのも、寄居町まで行くのに5時間ぐらいかかるんですね。往復で10時間ぐらい。そうなると、バスの運転手さんの労働時間が決まっていて、二人運転手が必要になる関係で、人件費がよりかかってしまうんですね。なので、日帰りで寄居町に行くのと、泊まるのと大体値段が同じかな。ただ、やっぱり宿泊費はかかるので、宿泊したほうが高くはあると思うんですけれども。

なので、バスよりかは。

○（石山和生君）

新幹線のほうが楽ですか。

○（中山尚大君）

新幹線のほうが絶対楽ですよ。

○（石山和生君）

じゃあ新幹線でいいですね。いいんじゃないですか、日帰りで。

○（中山尚大君）

島田もきついんですか。当初どおりの予定で行くと。

○（篠崎朗子君）

ちょっと移動時間が長いのが心配です。

○事務局書記（増田奈菜子君）

どうしますか。島田市だけ変えますか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

島田市にはもう依頼というか、仮予約はしてあるんですよ。

事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

島田市には依頼申込みをしております、依頼文の最終的なものは出していないんですが、29日の日付で行くことを申込みしており、事務局間では29日だという話をしている状態ではございます。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

じゃあそこは変えずにということで、よろしいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

そこはこの予定どおりという形で。

○（中山尚大君）

ごめんなさい、じゃあ29日は島田市は時間は何時なんですか。まだ分からない。

○事務局書記（増田奈菜子君）

10時の予定です。

○（中山尚大君）

それじゃあ、午後はないわけですか。

○事務局書記（増田奈菜子君）

午後はないです。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

10時に島田市ということですね。

○事務局書記（増田奈菜子君）

そうですね。なので、こちらを9時半ないしもうちょっと前、9時15分くらいに集合して、この人数であれば、議会が持っているランディという大きな車で移動が可能なので、私が運転して皆様をお連れして、こちらに帰ってくる。ないし、榛原に寄って榛原の方を乗せてまた行くということを想定しております。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

3 その他 （1） 牧之原市議会だより「かけはし」紙面のリニューアルについて

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

じゃあその件はいいとして、そのほか何か。
事務局。

○事務局書記（増田奈菜子君）

視察の委員の方と話し合いました、お昼の場所を決めました。近いうちにお昼の表などをつくって、皆さんで何を食べたいか、評決を取らせていただきますので、その際は。評決というか。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

よろしいですか。

○（中山尚大君）

初めて視察に行くので聞きたいんですが、28日は移動して現地で視察して、そのまま帰ってくるということですね。

○事務局書記（増田奈菜子君）

そうです。

○（中山尚大君）

分かりました。

○事務局書記（増田奈菜子君）

細かい日程表はまたつくって、お渡しさせていただきます。

○議会広報特別委員長（絹村智昭君）

それでは、以上をもちまして広報委員会のほうを閉めさせていただきます。本日はありがとうございました。

〔午前 10時48分 閉会〕